

対策中級コース



研修の目的



当所研修コースでは唯一の多職種合同の研修で、疫学データ解析や分子疫学調査を活用した接触者健診の実施に結びつけ、結核集団発生に対応する力を習得することを目的とします。

グループワーク等を通じて、服薬支援にかかわる多職種の連携を深めます。地方衛生研究所の方もご参加いただけます。



研修コース紹介



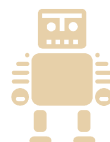
研修コース名・開催期間	対象	研修内容
対策中級コース 2021年 1月18日～22日	保健所の結核担当者(医師、診療放射線技師、保健師、薬剤師、臨床検査技師等)、地方衛生研究所の結核担当者等 (結核業務担当で、既に結核研究所の各種研修コースに参加された方、あるいは同程度の知識と経験のある方)	結核対策に関し、より高度な内容の講義と、疫学データ解析、分子疫学調査の活用、接触者健診や集団発生、外国出生者の対応などに役立つ内容となっています。 事例を基にした多職種によるグループワーク等を通して、接触者対応への実践を深めていただくコースです。 既に結核の基礎知識を習得済みの方が対象ですので、基礎的・臨床的な内容の講義は含まれません。



持ち物等



自己紹介、グループ討議を予定しています。自己紹介資料、保健所の事業概要、集団感染事例等をお持ちください。詳細は事前にお送りする資料をご確認ください。



チェックポイント



「対策中級コース」は、結核対策を担当する様々な職種の方々も受講が可能です。お気軽にお問い合わせください。

